



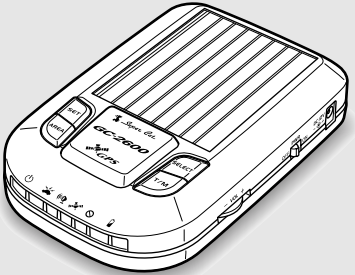
GPSアンテナ一体型レーダー探知機

GC-2600

取扱説明書

12V車専用

このたびは、スーパーキャットのレーダー探知機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本機は、スピード取締り機の前もってお知らせする受信機です。



目次

はじめに

安全上のご注意 2
各部の名称と働き 4
電源について 6
取り付けかた 9

使いかた

レーダー編
音量/警報音を設定する 10
便利な機能について 12
レーダーアラーム機能について 13
iDSPについて 14

GPS編
GPS測位機能について 15
取締・検問エリア警告、圏外通知 18
Nシステム告知について 19
駐禁監視エリア告知について 20
AAC/ASS機能について 21
インテリジェントキャンセルの機能使いかた 23
マイエリア警告の使いかた 24

無線編
無線受信バンドについて 25

その他

取締りのミニ知識 27
取締りレーダー波を受信しにくい場合 28
仕様 29
故障かな?と思ったら 30
アフターサービスについて 31
保証書 裏表紙

△ 注意

この説明書をよくお読みのうえ、安全運転のよきパートナーとして正しくお使いください。
なお、お読みになられたあとも、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

保証書 (持込修理)

本書は、本書記載内容(下記規定)で、無料修理を行うことを、お約束するものです。
保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品番	GC-2600
S/No.	
お買い上げ年月日	年 月 日
対象分機	本体(専用ニッケル充電池等の消耗品はく)
保証期間	お買い上げの日から1年
お客様	お名前 様 ご住所 〒 TEL.()
販売店	店名・住所 上欄に記入または捺印の無い場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。

<無料修理規定>

1. 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本体及び本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、最寄りの弊社営業所・サービス部へご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
(イ)使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
(ロ)お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
(ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
(ニ)特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
(ホ)故障の原因が本製品以外にある場合
(ヘ)本書のご提示がない場合
(ト)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
(チ)付属品や消耗品等の消耗による交換

5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

故障内容記入欄

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告：この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

⚠ 注意：この表示は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

絵表示について

⚠ この記号は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

⊘ この記号は、してはいけない「禁止」内容です。

❗ この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

⊘ 水をつけたり、水をかけない。また、ぬれた手で操作しない…火災や感電、故障の原因となります。

⊘ 穴やすき間にピンや針金などの金属を入れない…感電や故障の原因となります。

⊘ 機器本体および付属品を改造しない…火災や感電、故障の原因となります。

⊘ 運転中は絶対に操作しない…わき見運転は重大事故の原因となります。また、設定は停車中に、パーキングブレーキを確実にかけた状態で行ってください。

❗ 取り付けは、自動車の運転や視界の妨げにならない場所に取り付ける…誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

❗ 万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する…そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。

⊘ 警報したときに慌ててブレーキをかけたりしない…走行中に急ブレーキをかけたりすると大変危険です。

⊘ バッテリーに直接接続しない…火災や感電、故障の原因となります。

⊘ サービスマン以外の人、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しない…感電や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。

⊘ 医用電気機器の近くでは使用しない…植込み型心臓ペースメーカーや、その他の医用電気機器に電波による影響を与える恐れがあります。

⊘ 助手席エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしない…万一のとき動作したエアバッグで本体等が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、シガープラグ使用時に配線が妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。

シガープラグコード接続時

❗ シガーライターソケットやシガープラグの汚れはよく拭く…接触不良を起こして火災の原因となります。

❗ シガーライターソケットは単独で使う…タコ足配線や分岐して接続すると、異常加熱や発火の原因となります。

⚠ 警告

シガープラグコード接続時

❗ シガープラグは確実に差し込む…接触不良を起こして火災の原因となります。

⊘ ぬれた手でシガープラグの抜き差しをしない…火災や感電、故障の原因となります。

⊘ 電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しない。また、電源コードが傷んだら使用しない…感電やショートによる発火の原因となります。

⊘ 表示された電源電圧車以外では使用しない…火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。

⊘ 煙が出ている、変な臭いがするなど、異常な状態のまま使用しない…発火の恐れがあります。すぐにシガープラグを抜いて、販売店に修理をご依頼ください。

⚠ 注意

シガープラグコード接続時

⊘ 本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。

❗ 取り付けや取り外しは確実に行う…落ちたりして、ケガの原因となります。

❗ 車から離れるときは、電源を切る…本機はオートパワーOFF機能を搭載していますが、使用しないときは電源を切ってください。また、シガープラグコードを接続している場合は、エンジンを止めても、シガーライターソケットに、常時電源が供給される車種がありますので、ご使用にならないときはシガープラグを抜いてください。

⊘ シガープラグコードを抜くときは、電源コードを引っ張らない…コードに傷がついて、感電やショートによる発火の原因となります。必ずシガープラグを持って抜いてください。

⊘ お手入れの際は、シガープラグを抜く…感電の原因となります。

ご使用にあたって

■ 周辺的环境によっては、GPSの測位に誤差が生じることがあります。

■ 走行環境や測定条件などにより、取締りレーダー波の探知距離が変わることがあります。

■ 一部の車種に採用されている金属コーティングの断熱ガラスの中には、電波の透過率が低いため衛星からの電波を受信しにくく、GPS測位ができない場合や、取締りレーダー波の探知距離が短くなることがあります。

本機を使用中のスピード違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。

各部の名称と働き

レーダー操作部

GPSアンテナ部
GPS衛星からの電波を受信します。

セットボタン[SET]
各種設定項目のON/OFF設定や、インテリジェントキャンセルエリアを消去するときに押します。
(● 11、19、20、21、23、25ページ)

マイエリアボタン[AREA]
自分でメモリーしたいエリアを登録するときに押します。
(● 24ページ)

電源ランプ[
電源が入ると点滅 (DC12V電源供給時は点灯) します。
また、警報の状態をランプの色で表示します。
(● 10、22ページ)

無線ランプ [
350.1MHz、407.7MHz帯の電波を受信したときに、緑色で点滅します。(● 25ページ)

レーダーランプ [
取締りレーダー波を受信すると赤色で点滅します。
(● 13ページ)

GPSランプ [
GPSの電波をサーチ中またはGPSによる警報中は青色で点滅します。(● 15、16、17、18、19ページ)

駐禁エリアランプ [
駐禁最重点エリア内で赤色点滅 (DC12V電源供給時は点灯) します。(● 20ページ)

レーダー波アンテナ (前面)
取締りレーダー波を受信します。

DCジャック [DC12V] (12V車専用)
付属のシガープラグコードを接続します。(● 7ページ)

電源スイッチ [PWR]
ONにすると電源が入ります。(● 10、15ページ)

セレクトボタン [SELECT]
各種設定項目を選択するときに押します。
(● 11、19、20、21、23、25ページ)

音量ツマミ [- VOL +]
警報音の音量調節ができます。(● 10ページ)

テスト&ミュートボタン [T/M]
警報音の確認やミュート機能を使うときに押します。
(● 8、10、12ページ)

バッテリーランプ [
テスト&ミュートボタンを押している間は、バッテリーの残量を表示し、バッテリーが消耗してくると赤色で点滅します。(● 8ページ)

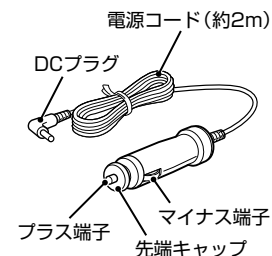
- GPS 11識別
- 無線2バンド識別
- ベスト・パートナー 2識別
- レーダー波 3識別

ターゲット18識別

付属品

ご使用前に付属品をお確かめください。

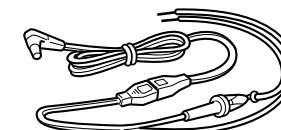
- シガープラグコード(1)



- 専用ニッケル水素電池(1)
- 粘着マット(1)
- マジックテープ(1)
- 取扱説明書・保証書(1)

別売品のお知らせ

- 電源直結コードOP-4 (約4m)
1,575円(税込)
シガーライターソケットを使わずに、アクセサリ系端子から直接電源をとることができます。

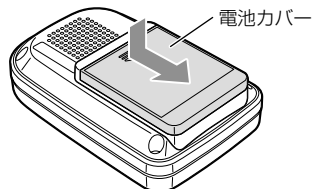


- 交換用ニッケル水素電池
2,100円(税込)
本電池は本機専用です。

専用ニッケル水素電池の取り付け

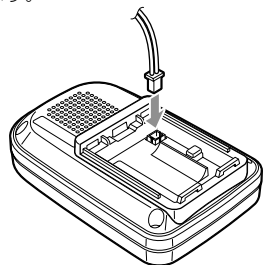
1 電池カバーを開ける

電池カバーを軽く押し込みスライドさせてください。



2 付属の専用ニッケル水素電池を接続する

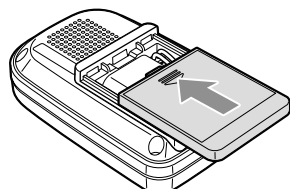
本体底面のソケットにコードのプラグを差し込みます。



ソーラーバッテリーは専用のニッケル水素電池を充電するためのものです。

本機はソーラー電卓などとは違い、ソーラーバッテリーのみで駆動はできません。必ず専用のニッケル水素電池を接続してご使用ください。

3 電池カバーを取り付ける



本機はシガーライターソケットからの充電・使用に加え、走行中や駐車中でも、ソーラーバッテリーによる太陽光からの補充充電ができます。

ただし、初めてご使用になるときは、電源スイッチをONにして、付属のシガープラグコードを接続し、必ず合計10時間(例 1日2時間で5日)以上、走行しながら充電してください。GPS測位は、電流を多く消費するため、電池の消耗により測位できないことがあります。また、初めて使用する場合など、地理的状況により測位に20分以上かかることがあります。障害物や遮へい物などのない視界の良い場所に移動し、車を停車して行ってください。

- 充電は電源スイッチのON/OFFに関係なくできます。
- GPS測位が不安定な場合や警報回数が増えると、バッテリー(専用ニッケル水素電池)の消耗を早め、10時間程でローバッテリー警告になることがあります。
※連続使用時間は、各種機能の設定状態により異なります。
- 付属の専用ニッケル水素電池には寿命があります。充電が充分でなくなったら、新しい専用ニッケル水素電池と交換が必要です。交換についてはお買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にご相談ください。
- 本機はGPS受信機を搭載していますので、一般のコードレスレーダー探知機に比べて、電流を多く消費するため、GPSパワーセーブを採用していますが、ご使用になる条件によっては電池の消耗が早くなることがあります。また冬期は、日照時間やソーラーバッテリーの性能上、充電しにくくなります。

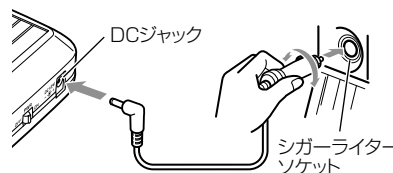
●オートパワーON/OFF機能について

アイドリングなどの振動の少ない状態(停車中)や、エンジンを切ったときなど振動のない状態(駐車中)が約3分間以上続くと、自動的に電源が切れます。また、振動を検出すると電源が入ります。

- ※ 振動や騒音の激しい場所では、わずかな揺れを検出して電源が切れないことがあります。使用しないときは電源スイッチで電源を切ってください。
- ※ 走行中でも、低速走行や一時停止など、振動を検出できない状態が約3分間続いた場合にはオートパワーOFF機能が働きます。

専用ニッケル水素電池の充電

1 付属の専用ニッケル水素電池を接続した状態で、付属のシガープラグコードを、DCジャックと車のシガーライターソケットに差し込む



シガープラグは、2、3回左右にひねりながら差し込みます。

- ※ エンジンを止めた場合に、シガーライターソケットに電源が供給されない車種であれば、シガープラグコードを常に接続した状態でご使用いただけます。

●ソーラーバッテリーに太陽光がよく当たる場所に取り付ける

駐車するときは、ソーラーバッテリーに直射日光がよく当たるように、南向きに駐車するように心がけてください。

2 10時間(例 1日2時間で5日)以上使いながら充電したあと、シガープラグコードを抜いてテスト&ミュートボタンを押し、バッテリー表示が[満充電]状態であることを確認する(● 8ページ)

- 本機はDC12V(マイナスアース)車専用です。
- シガープラグコードは、必ず付属のものをご使用ください。
- シガープラグ内部のヒューズが切れた場合は、同じ容量(1A)の新しいヒューズと交換してください。また、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、使用を中止し、シガープラグを抜いてお買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にご相談ください。
- シガープラグ内部には、ヒューズとスプリングが入っています。ヒューズ交換の際は、部品の紛失に注意し、順序を合わせて入れてください。
- 一部の車種においては、シガープラグの形状が合わないことがあります。その場合は、別売のOP-4を使用してください。(● 5ページ)
- 充電終了後も専用ニッケル水素電池は装着したままご使用ください。

⚠ 警告

- ❗ 助手席エアバッグの妨げとなる場所に配線しないでください。電源コードが妨げとなり、エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグで本体が飛ばされ、事故やケガの原因となります。

※本機は、専用ニッケル水素電池だけのコードレス使用も可能ですが、機能を充分にご使用いただくためにも、通常は、シガープラグコードを接続してご使用ください。

バッテリー表示機能について

■ローバッテリー表示について

初期充電不足や太陽光が当たらない条件下での使用が続きバッテリー(専用ニッケル水素電池)が消耗してくると、バッテリーランプが点滅し、ローバッテリーアラーム『ビビビッ ビビビッ…』が鳴り出します。このようなときは充電が必要です。付属のシガープラグコードを使い充電してください。

バッテリーの状態	バッテリーランプ
バッテリーが消耗し、充電が必要な状態	赤色点滅 
バッテリーが消耗し、すぐに充電が必要な状態	赤色点滅  ビビビッ ビビビッ ビビビッ …… ローバッテリーアラームが鳴ります(約1分間)

■バッテリーの残量表示について

シガープラグコードを抜いた状態でテスト&ミュートボタンを押している間、バッテリーの残量の状態を表示します。

バッテリーの状態	バッテリーランプ
残量が充分な状態	緑色点灯 
少し消耗した状態	オレンジ色点灯 
充電が必要な状態	赤色点灯 

- シガープラグコードをDCジャックに差し込んだ状態(DC12V電源供給時)では、バッテリーの残量表示はしません。
- 電源を入れても、数分間はバッテリー残量を正しく表示できないことがあります。
- 温度が極端に高いところまたは低いところでは、バッテリー残量を正しく表示できないことがあります。

取り付けかた



GPS衛星からの電波を受信しやすくするため、障害物や遮へい物のない視界の良い場所に取り付けてください。

粘着マットについて

強力な粘着力により、ダッシュボードに安定して設置できますが、従来の接着剤と異なり、はがしても跡が残りにくいのが特長です。また、表面に付着したホコリや汚れなども、中性洗剤を使い水洗いすると粘着力が復元し、再度使用することができます。

■粘着マットの上手な使いかた

粘着マットは、両面テープなどと比べるとはがしやすい反面、傾斜した面やダッシュボードの表面の素材や状態によっては、貼り付きにくく安定しないことがあります。

粘着マットの保護シートをはがす前にダッシュボード上に仮置きし、本体を水平に調整してください。このとき、すべり落ちたり、傾いて倒れてしまうような場所は避けて、できるだけ水平に近い平坦な場所に取り付けてください。

粘着マットで安定した取り付けができない場合は、同梱のマジックテープを使用するか、市販の強力型両面テープ(厚さ2mm以上)を使用し、固定してください。まれに、ダッシュボードが変色・変形(跡が残る)することがありますが、あらかじめご了承ください。

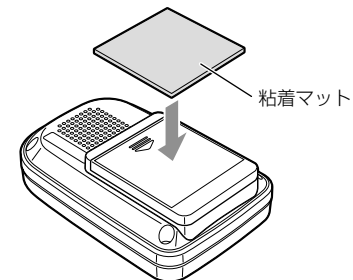
- 貼る場所の表面に、ホコリや汚れがないことを確認してください。
- 貼り付ける側の保護シートを外し、しっかり貼り付けてください。
- GPSアンテナ部の上やレーダー波アンテナの前に、他の機器のアンテナや、金属などの障害物がこないような水平に近い平坦な場所に取り付けてください。
- ダッシュボードから外す場合は、本体を持ってゆっくりと行ってください。

⚠注意

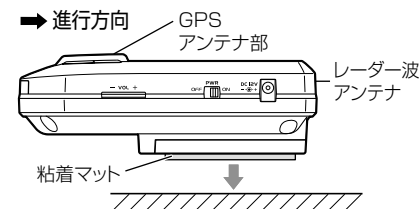
- エアバッグの上に取り付けしないでください。万一のとき動作したエアバッグで飛ばされ、事故やケガの原因となります。
- 自動車の運転や視界の妨げにならない場所に取り付けてください。誤った取り付けは、交通事故の原因となります。
- 取り付けは確実に行ってください。落ちたりして、ケガや破損の原因となります。

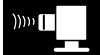
ダッシュボードに取り付ける

1 本体に付属の粘着マットを貼り付ける



2 本体を道路に対して水平に近く、レーダー波アンテナが進行方向(前方)を向くように、ダッシュボードに固定する



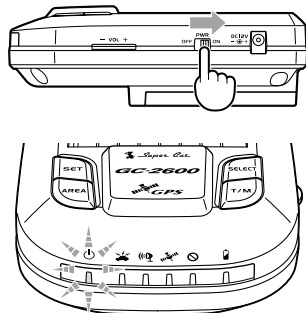


音量/警報音を設定する

設定は、必ず停車中にパーキングブレーキを確実にかけて行ってください。

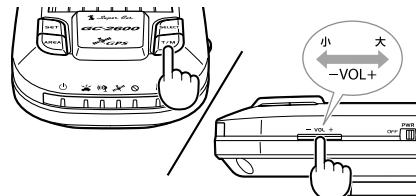
1 電源を入れる

電源スイッチをONにします。
ターン オン ボイス『パワーONです』とお知らせし、電源ランプが点滅します。
(DC12V電源供給時は、電源ランプが点灯します。)

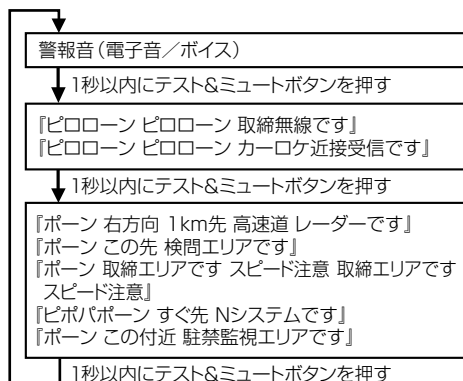


2 音量を調節する

テスト&ミュートボタンを押しながら、音量ツマミを回します。
テスト&ミュートボタンを押す前から警報機能が働く場合は、近くで発信されている取締りレーダー波と同じ電波を受信しているためです。この状態でボタンを押すと、ミュート機能が働き、警報音が止まります。(➡12ページ)



テスト&ミュートボタンを押している間はテストモードとなり、警報音(電子音/ボイス)を確認することができます。
いったんテスト&ミュートボタンを放し、1秒以内に再度押すと、次の手順で警報音や音声の確認ができます。



3 警報音を選ぶ

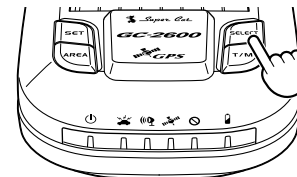
レーダー波受信時の警報音は「電子音」または、「ボイス」を選択することができます。

電子音	『ピッピッピッ...』という電子音で警報します。
ボイス	『ピンポーン ピンポーン スピード注意』とボイスで警報します。

警報音の選択方法

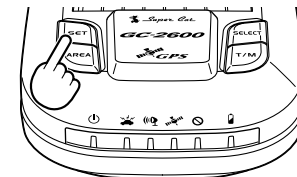
初期値は「ボイス」に設定されています。

1 セレクトボタンを押す



『ボイスONです』とお知らせします。

2 セットボタンを押す



セットボタンを押すごとに『OFFです』、『ONです』とお知らせし、設定変更できます。
※『ONです』のお知らせで「ボイス」、『OFFです』のお知らせで「電子音」に設定されます。



便利な機能について

オートクワイアット/ディマー機能

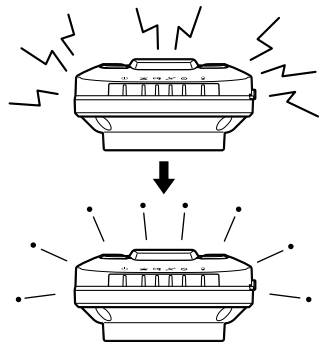
レーダー波の受信が約30秒以上続くと、自動的に音量が小さくなり、ランプも暗くなります。

後方受信

iDSPによる超高精度識別およびエクストラモードの高感度受信により、後方からの取締りレーダー波もシッカリ受信します。

ミュート機能

●取締りレーダー波の発信元の確認ができた
ら警報中にテスト&ミュートボタンを押すと、受信中の電波がなくなるまで、警報音を一時的に消すことができます。



ターン オン ボイス

電源スイッチを入れたときや、オートパワーON機能により電源が入ったとき、『パワーONです』と、電源が入ったことをお知らせします。



- バッテリーが消耗しているときは、ターン オン ボイスのあと、しばらくしてからローバッテリーアラームが鳴ります。



レーダーアラーム機能について

本機は、Wアラーム方式と接近テンポアップシステムの採用により、取締りレーダー波の存在をより確実に伝えていきます。

Wアラーム方式

音(電子音/ボイス)と光(レーダーランプ)のダブルで警報します。

接近テンポアップシステム

各警報は、取締りレーダー波発信元への接近(電波の強弱)に合わせて変化します。

取締りレーダー波 発信元との距離	
電子音アラーム	断続音から連続音に変化します。
レーダーランプ	遅い点滅から早い点滅または点灯に変化します。

- ボイスアラームはテンポアップしません。
- レーダー波の受信が約30秒以上続くと、警報音が小さくなり、ランプも暗くなります。(オートクワイアット/ディマー機能)

本機はiDSP/統合的デジタル信号処理技術(integrated Digital Signal Processing Technology)※により、ステルス型取締り機の「瞬で強い電波」に対しては、ただ単に警報するだけでなく、通常波と区別して『ステルスです』とボイスでお知らせします。さらに、インテリジェントキャンセル(● 23ページ)により、取締り波かどうかを識別し、誤警報を抑えます。【レーダー波3識別】(ステルス識別：特許 第3326363号、インテリジェントキャンセル：特許 第3902553号)

- ・iDSPを解除することはできません。
 - ・iDSPはステルス型の取締り機に対して完全対応という訳ではありません。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
- ※本機はフリップチップinアンテナ【特許 第3229564号】を採用しています。

ボイス識別

ステルス型取締り機について

他の取締り機と同じ電波を使用していますが、事前に探知(受信)されないようにするため、待機中は電波を発射せず、必要なときに短時間強い電波を発射して速度の測定ができる狙い撃ち方式の取締り機です。

- ・ステルス型取締り機は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかったり、警報が間に合わない場合があります。また、取締りには電波を使用しない光電管式などもありますので、先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
- ・通常の電波を受信した場合でも、周囲の状況などにより、ボイスでステルス波の識別警報することがあります。
- ・電子音/ボイスのどちらの警報音を選んでいるときでも、ステルス型取締り機の電波を受信するとボイスでステルス波の識別警報します。

新Hシステムについて

電波を用いる自動速度取締り機(オービス)の一種ですが、他のオービスとは種類の異なる電波(周波数は同一)を使用しているため、従来機では探知(受信)しにくくなります。

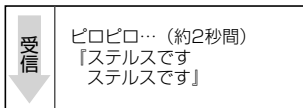
ただし、このシステムでは証拠の記録をする前に、電光掲示板で「速度オーバー」や「速度超過」などの警告がありますので、これらの警告を見かけたら注意してください。



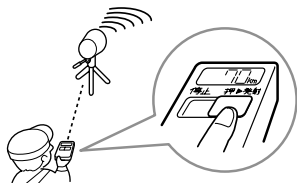
※電光掲示板による警告がない場合もありますので、ご注意ください。

<ステルス波を受信したとき>

- 専用のボイスでお知らせします。

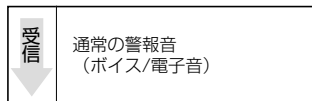


『ステルスです』とお知らせしたあとは、通常の警報音(電子音/ボイス)になります。



<新Hシステム波を受信したとき>

- 選んでいる通常の警報音(電子音/ボイス)が鳴ります。



GPS(Global Positioning System)とは、衛星軌道上の24個の人工衛星から発信される電波により、緯度・経度を測定するシステムです。カーナビでお馴染みのこのシステムを利用して、取締りレーダー波を発射しないループコイル式のオービスそしてLHシステムも、ボイスで警告します。

【GPSボイス警告：特許出願中】

固定設置式のオービスだけでなく、過去の実績や検問がよく行われたエリアなど、11種類のターゲットへの接近をボイスでお知らせします。【GPS 11識別警報】

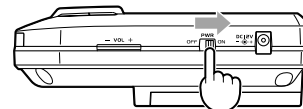
①ループコイル	②LHシステム
③新Hシステム	④レーダー式オービス
⑤トンネル出口ターゲット	⑥取締りエリア
⑦検問エリア	⑧取締り・検問圏外
⑨Nシステム	⑩マイエリア
⑪駐禁最重点エリア	

●フレックスディマーについて

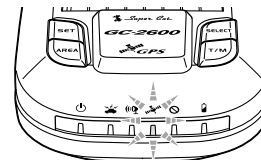
GPSの時刻情報により、それぞれの地域および季節に応じて、夜間のランプの明るさを抑え、眩しさを防ぎます。

1 GPS測位機能を使う

電源スイッチをONすると、GPS測位機能もONになります。(GPS測位機能のみOFFにすることはできません)



GPSの電波をサーチはじめ、GPSランプが青色に点滅します。



サーチが終わり、GPS測位機能が動くと、GPSランプは消灯します。初めての測位のときは、『ポーン 測位しました』とお知らせします。サーチ後、約5分経過しても測位できないときは、『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせします。

●TVによるGPS測位障害について

車載TVなどをUHF56チャンネルに設定していると、GPS測位できない場合があります。これは、UHF56チャンネルの受信周波数が障害電波となり、GPS受信に悪影響を与えるためです。ご注意ください。

通常、サーチが終わるまで約10秒～3分かかりますが、初めてのサーチやビル谷間など、視界の悪い場所では、GPSの電波を受信しにくく、サーチに20分以上時間がかかる場合があります。障害物や遮へい物のない視界の良い場所へ移動し、車を停車して行ってください。

- ・サーチが終わったあとも、電波を受信できない状態が約5分(DC12V電源供給時は約30秒)以上続くと、『ポーン GPSを受信できません』とお知らせし、GPSランプが点滅します。その後、再び測位すると『ポーン GPSを受信しました』とお知らせします。

※オートパワーOFF機能により、振動のない状態が約3分間以上続くと、自動的に電源が切れますので、測位するまでの間は、3分以内に振動を与えて電源が切れないようにしてください。

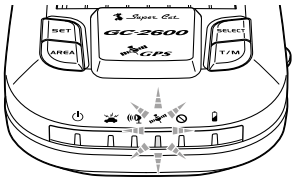
オービス情報について

オービスの種類を識別してお知らせします。

オービスの種類	警報語句
ループコイル式	『ポーン(右/左方向) 1km(500m)先 (高速道)ループコイルです』
LHシステム	『ポーン(右/左方向) 1km(500m)先 (高速道)LHシステムです』
新Hシステム	『ポーン(右/左方向) 1km(500m)先 (高速道)Hシステムです』
レーダー式オービス	『ポーン(右/左方向) 1km(500m)先 (高速道)レーダーです』

GPSランプが青色に点滅する

- 1
- 約1km～500m手前で、GPSボイス警告し、しばらくの間、青色に点滅します。
- 2
- 約500m～直前で、もう一度GPSボイス警告し、しばらくの間、青色の速い点滅をします。
- ただし、GPS測位の状況によっては、1回のみの警報になります。



●オービス3段階警報

手前約1km/500m/通過時(DC12V電源供給時)の最大3段階で警報します。約1kmの警報ポイントで警報できなかったときは、『ポーン この先・・・です』とボイスでお知らせし、約500mの警報ポイントで警報できなかったときは、『ポーン すぐ先・・・です』とボイスでお知らせします。

●トンネル出口警報

トンネルの中ではGPSの電波を受信できないため、出口付近に設置されているオービスは警報できませんでしたが、トンネルの入口手前約500mと直前の2カ所*で、出口付近のオービス(トンネル出口のターゲット)をボイスでお知らせします。
『ポーン トンネルの出口付近(高速道 ループコイル)です』
※GPS測位または地理的な状況によっては、1回のみの警報になります。

●左右方向識別ボイス

GPS警報は、ターゲットが進行方向に対して、右手または左手方向に約25°以上のとき、その方向をボイスでお知らせします。
・『右方向』、『左方向』のボイスは、告知時点でのターゲットの方向であり、右車線、左車線を示す訳ではありません。
・ターゲットの反対方向に対しては警報されません。

●高速道識別ボイス

ターゲットが高速道に設置されている場合、ボイスでお知らせします。

●オービス通過告知

シガープラグコード接続時(DC12V電源供給時)は、オービスの撮影ポイント*の通過をお知らせします。『ポーン 通過します』
※実際のオービスの直下ではなく、その手前の撮影想定ポイントの通過をお知らせするようにしていますので、通過前に告知される場合があります。

DC12V電源供給時のGPSランプの点滅について

オービスポイントおよびマイエリア(24ページ)に近づくと・・・

- 1
- 約1km～500m手前まで点滅(青色)を続けます。
- 2
- 約500m手前～直前まで速い点滅(青色)を続けます。



取締・検問エリア警告、圏外通知

過去の取締りや検問などがよく行われたエリアが登録されていて、そのエリアの約1km手前の警報の他に、エリアの中に入ったとき、そしてエリア圏外になったときは3段階でお知らせします。

※取締エリアや検問エリアは、過去のデータに基づき登録されていますが、常に行われている訳ではありません。目安としてお考えください。

取締エリアの場合	
1km手前…	『ポーン(右/左方向) 1km先 (高速道) 取締エリアです』 (GPSランプ：青色点滅)
エリアの中に入ったとき…	『ポーン 取締エリアです スピード注意 取締エリアです スピード注意』 (GPSランプ：速い青色点滅)
エリア圏外になったとき…	『ポーン 取締エリア外です』

検問エリアの場合	
1km手前…	『ポーン(右/左方向) 1km先 (高速道) 検問エリアです』 (GPSランプ：青色点滅)
エリアの中に入ったとき…	『ポーン 検問エリアです 検問エリアです』 (GPSランプ：速い青色点滅)
エリア圏外になったとき…	『ポーン 検問エリア外です』



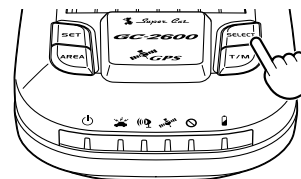
Nシステム告知について

GPS測位により、登録されたNシステムのポイントに近づくと、お知らせします。

「Nシステム告知」のON/OFF設定のしかた

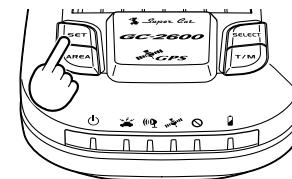
初期値は「ON」に設定されています。

1 セレクトボタンを5回押す



『NシステムONです』とお知らせします。

2 セットボタンを押す



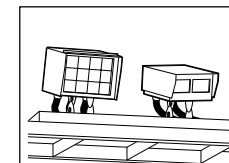
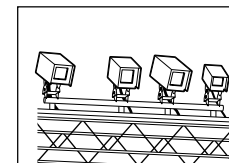
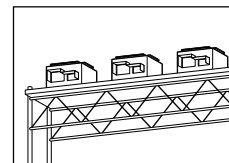
セットボタンを押すごとに『OFFです』、『ONです』とお知らせし、設定変更できます。

Nシステムは約300m手前から通過直前に、『ピポパポーン(右/左方向) すぐ先(高速道)Nシステムです』とお知らせし、GPSランプがしばらくの間、速い青色点滅をします。

- 「Nシステム告知」した場合でも、実際は稼動していないNシステムもあります。

Nシステムとは？

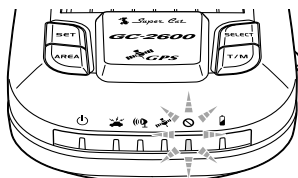
「自動車ナンバー読み取り装置」の略称で、その名の通り走行中の自動車のナンバーを道路に設置した赤外線カメラにより自動的に読み取り、そのデータを各都道府県の警察本部などに専用線を通して送信する装置で、自動車を利用した犯罪の捜査や盗難車輛の検挙、発見などを効率的に行うことを目的に開発、導入されたものです。





駐禁監視エリア告知について

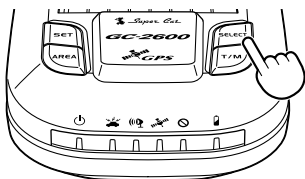
違法駐車取締りの活動ガイドラインの最重点地域内に進入すると、『ポーン この付近 駐禁エリアです』とお知らせし、駐禁エリア内は駐禁エリアランプが点滅します。(DC12V電源供給時は、駐禁エリアランプが点灯します。)



「駐車禁止監視エリア告知」のON/OFF設定のしかた

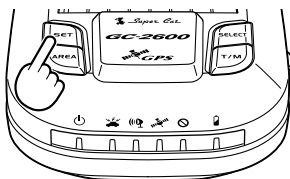
初期値は「ON」に設定されています。

1 セレクトボタンを6回押す



『駐禁ONです』とお知らせします。

2 セットボタンを押す



セットボタンを押すごとに『OFFです』、『ONです』とお知らせし、設定変更できます。



AAC/ASS機能について

550

GPSの速度検出機能により、AAC/不要警報カットやASS/最適感度選択の機能が働きます。

AAC/不要警報カット

●走行速度が時速30km未満の場合は…

取締りレーダー波を受信しても、警報をカットしますので、停車中や低速走行中に、自動ドア等の電波を受信しても、誤警報することはありません。

- GPS測位されない状態では、AAC機能は働きません。

ASS/最適感度選択

●走行速度が時速30km以上の場合は…

走行速度に合わせて、最適な受信感度を自動的に選択します。[ASS/最適感度選択：特許 第3051676号]

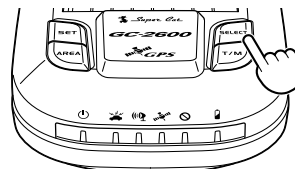
- GPS測位されない状態では、ASS機能は働きません。このときエクストラ感度に固定されます。

走行速度	受信感度	
30km～39km	シティモード	
40km～59km	ハイウェイモード	スーパー感度
60km～		エクストラ感度

AAC/ASS機能のON/OFF設定のしかた

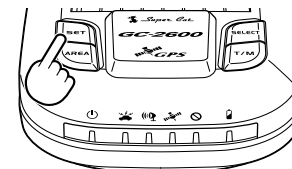
初期値は「ON」に設定されています。

1 セレクトボタンを3回押す



『AAC ONです』とお知らせします。

2 セットボタンを押す



セットボタンを押すごとに『OFFです』、『ONです』とお知らせし、設定変更できます。

※OFFに設定した場合は、エクストラ感度に固定されます。

電源ランプの色と警報動作

	車速	30km			40km			60km		
		停止	走行中		停止	走行中		停止	走行中	
AAC/ASS機能ON時	電源ランプ	赤色	緑色		赤色	緑色		赤色	緑色	
	警報状態	警報しない	警報する		警報しない	警報する		警報しない	警報する	
	受信感度		シティモード			ハイウェイモード			スーパー感度	
AAC/ASS機能OFF時	電源ランプ	オレンジ色	オレンジ色		オレンジ色	オレンジ色		オレンジ色	オレンジ色	
	警報状態	警報する	警報する		警報する	警報する		警報する	警報する	
	受信感度	エキストラ感度	エキストラ感度		エキストラ感度	エキストラ感度		エキストラ感度	エキストラ感度	

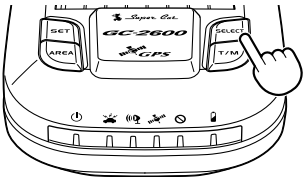


自動ドアなどで誤警報する場所を通過した際、GPSの位置情報を誤警報エリアとして自動で登録し、2回目以降、通過時にレーダー波を受信した場合、レーダー警報をキャンセルします。登録数は100カ所まで登録され、それを超えると通過履歴の最も古いものを削除し、新しいエリアを登録します。[インテリジェントキャンセル：特許 第3902553号]

「Iキャンセル」のON/OFF設定のしかた

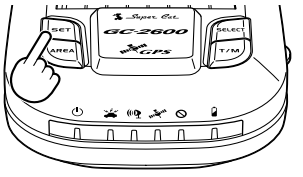
初期値は「ON」に設定されています。

1 セレクトボタンを2回押す



『IキャンセルONです』とお知らせします。

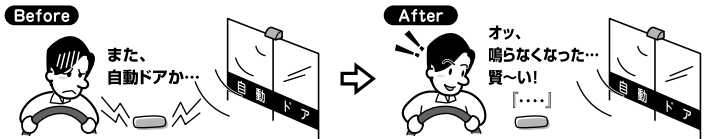
2 セットボタンを押す



セットボタンを押すごとに『OFFです』、『ONです』とお知らせし、設定変更できます。

インテリジェントキャンセルのしくみ

- 1 取締りレーダー波と同じ電波を受信すると警報。[1回目]
- 2 取締りレーダー波かどうかを識別。
- 3 誤警報と思われる場合、「誤警報エリア」として自動登録。
- 4 同じ地点で電波を受信しても警報をキャンセル。[2回目以降]
キャンセル中は、レーダーランプがゆっくり赤色の点滅をします。



- GPS測位していないときや誤警報エリアの状況によっては、誤警報がキャンセルされない場合があります。
- 「Iキャンセル」を「OFF」に設定すると、インテリジェントキャンセル機能を停止させることができます。
- 自動登録したエリアは「Iキャンセル」や電源を「OFF」にしても記憶されています。

自動登録されたエリアをすべて消去するには…

セットボタンを約30秒間押したままにすると、『ポーン ポーン Iキャンセル』とお知らせし、すべて消去します。

- 消去すると、元に戻せませんのでご注意ください。
- エリアを個別に消去することはできません。



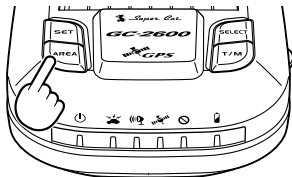
マイエリア警告の使いかた

移動オービスがよく出没する地点や、新たに設置されたオービスポイントなどを登録することができます。

- 登録数は30カ所まで可能で、30カ所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の最も古いエリアを削除し新しいエリアを登録します。

マイエリア登録する

登録したい地点でマイエリアボタンを押します。
『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせしたあとに、※『ポーン マイエリアをセットしました』とボイスでお知らせします。



●すでにマイエリア登録されていたエリアのとき…

『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせしたあとに、※『ポーン マイエリアにセットされています』とボイスでお知らせします。

●いったん登録したマイエリアを解除(消去)するとき…

マイエリア登録されているエリアで、マイエリアボタンを約1秒間押すと、『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせしたあとに、※『ポーン マイエリアを解除しました』とボイスでお知らせし、消去します。

※ GPS測位の状況によっては、最長20秒かかる場合があります。また、『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせしない場合があります。

マイエリア登録したエリアに近づくと…

手前約1km/500m/通過時(DC12V電源供給時)の3段階で警告します。
『ポーン(右/左方向) 1km(500m)先 マイエリアです』と約1km～500m手前と約500m～直前の2回、ボイスで警告します。このとき、アラームランプは約1km～500m手前で、しばらくの間、青色点滅します。また、約500m～直前で、しばらくの間、速い青色点滅をします。
シガープラグコード接続時(DC12V電源供給時)は、マイエリア登録ポイントの通過をお知らせします。
『ポーン 通過します』

5
BAND

無線受信バンドについて

つづく

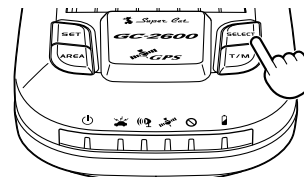
取締りレーダー波のX・KツインバンドとGPSの3バンドの他に、無線2バンド受信をプラスし、5バンド受信ができます。

$$\boxed{\text{GPS}} + \boxed{\begin{matrix} \text{Xバンド} \\ \text{Kバンド} \end{matrix}} + \boxed{\text{無線2バンド}} = \text{5 BAND}$$

「無線2バンド受信」のON/OFF設定のしかた

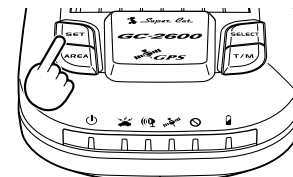
初期値は「ON」に設定されています。

1 セレクトボタンを4回押す



『無線 ONです』とお知らせします。

2 セットボタンを押す



セットボタンを押すごとに『OFFです』、『ONです』とお知らせし、設定変更できます。

1. 取締無線・カーロケ無線受信機能について

取締無線、カーロケ無線の電波を受信すると、無線ランプが点滅し、ボイスでお知らせします。【無線2バンド識別】

<各種無線を受信すると>

① 取締無線



② カーロケ無線



それぞれの無線の内容は、聞くことができません。

- 各種無線を一瞬でも受信すると、ボイスが1フレーズ鳴ります。
- 30秒以内に同じ無線を受信しても、ボイスによるお知らせはありません。
- ボイスが鳴っているときに、取締りレーダー波を受信すると、取締りレーダー波の警報音が優先されます。

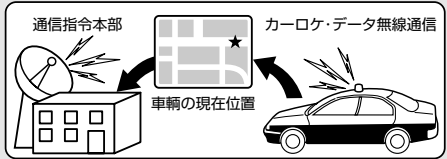
1 取締無線

スピード違反の取締りや、シートベルト着用義務違反の取締り現場では、350.1MHzの電波を用いた無線で連絡が行われることがあります。
350.1MHz取締無線受信機能は、このような取締りに威力を発揮します。

※ 取締り現場での連絡方法には350.1MHzの電波を用いた無線の他に、有線方式などもあり、受信自体ができない場合もあります。

2 カーロケ無線

カーロケーターシステムとは、「無線自動車動態表示システム」のことで、通信指令本部が移動局(パトカー等)の現在位置をリアルタイムで地図画面上に表示し、把握するシステムです。
カーロケーターシステムを搭載した移動局は、GPSによる緯度・経度情報をデジタル化し、407.7MHz帯の



- ※ カーオーディオやカーナビ、その他、カーエアコン、ワイパー、電動ミラーなどのモーターノイズにより、誤警報する場合があります。あらかじめご了承ください。
- ※ カーロケーターシステムは、導入されていない地域や新型のカーロケーターシステムに変更された地域があるため、一部の地域でしか、カーロケ無線を受信できません。また、現在は受信可能な地域であっても、今後、システムの変更により、受信できなくなることがあります。

周波数でデータ伝送していますので、その電波受信により、移動局が近くにいる可能性が高いことを察知できます。
このように、事前に察知することにより、緊急車輛の通行の妨げにならないようにするなど、安全走行に役立ちます。

- カーロケーターシステムは、まだ導入されていない地域やシステムが変更になった地域もあり、すべての移動局に搭載されているとは限りません。また搭載車であっても、使用されていない場合があります。ので、カーロケ無線を受信できないことがあります。
- 受信のタイミングによっては、実際の移動局の接近と受信のお知らせがズれる場合があります。

2. ベスト・パートナー2識別【特許出願中】

カーロケ無線(407.7MHz帯の電波)を受信したとき、その発信元の遠近を自動識別し、さらに発信元が圏外になったときと思われる場合もお知らせします。【圏外通知】【特許 第3780262号】

識別項目		警報語句
①カーロケ遠近	【カーロケ遠方受信】 発信元が遠方と思われるとき	『ピロローン ピロローン カーロケ遠方受信です』
	【カーロケ近接受信】 発信元が近接している可能性が高いとき	『ピロローン ピロローン カーロケ近接受信です』
②カーロケ圏外	カーロケ近接受信後、発信元が遠ざかった可能性が高いとき	『ピロローン ピロローン カーロケ圏外です』

- ※ カーロケ無線が受信可能な一部の地域でのみ働きます。
- ※ 警報によるアドバイスがあっても、実際とは異なる場合がありますので、目安としてお考えください。

本機と、取締りの方法や種類をよくつかんで、上手にご使用ください。制限速度を守り、安全運転を心がけることが大切です。

スピード違反の取締り方法

大きく分けて3つの方法があります。

1. 追走して測定する方法 (追尾方式)

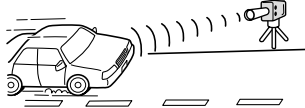
指針を固定できるスピードメーターを搭載している白バイやパトカーで、対象の車を追走して速度を測ります。
※本機は取締りレーダー波を発射しているものについては後方受信します。また、カーロケーターシステム搭載車の場合は、カーロケ帯受信機能により、警報することができます。

2. 距離と時間で算出する方法 (ループコイル式、LHシステム)

一定区間を通過するのにかかる時間から速度を算出します。
測定区間の始めと終わりに設置するセンサーには、赤外線や磁気スイッチなどが使われています。
※この方式は取締りレーダー波を発射しておりませんので、従来のレーダー受信機能では、検知できませんが、GPS測位機能により、警報することができます。

3. レーダー波を使って算出する方法(レーダー方式)

取締りレーダー波を対象の車に向けて発射し、その反射波の周波数変化(ドップラー効果)で速度を算出します。
※現在、スピード違反の取締りには、この方法が多く採用されています。この方法は、歴史も古く、種類、台数が多いことから、今後も取締りの主流になると思われます。



取締りレーダー波について

取締りレーダー波は、発射するときの角度や装置の種類によって性質が異なります。

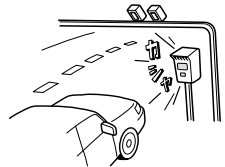
● 定置式

人が測定装置を道路際に設置して行います。
取締りレーダー波は、直進性が強いので、発射角度が浅いほど、探知しやすくなります。



● 自動速度取締り機(オービスⅢ)

速度の測定と証拠写真の撮影を自動的に行います。



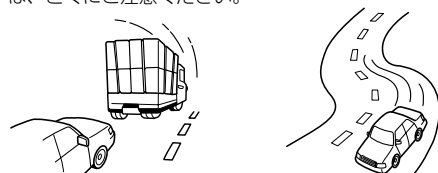
● 移動式

測定装置をパトカーに搭載して、移動しながら測定を行います。

取締りレーダー波を受信しにくい場合

取締りレーダー波の発射方法や周囲の環境、条件などにより、取締りレーダー波を受信しにくいことがあります。

- 前に走行している車(とくに大型車)がある場合や、コーナー、坂道では、電波が遮断され、探知距離が短くなることがあります。スピードの出やすい下り坂では、とくにご注意ください。



〔前に走行中の車がある場合〕

〔コーナー〕



〔下り坂〕

- 対象の車が近くに来るまで、取締りレーダー波を発射しない狙い撃ち的な取締りができるステルス型のスピード測定装置があります。

電波式の自動ドアや、信号機の近くに設置されている車輛通過計測機などは、取締りレーダー波と同じ電波を使用しているため、反応するのは避けられません。「いつも鳴るから」と安心せずに注意してください。

仕様

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

電源電圧	: DC 3.6V (専用ニッケル水素電池 1.2V×3) DC 12V (シガープラグ入力充電電圧)	受信周波数	: [GPS部] 1.6GHz帯 [レーダー部] Xバンド/Kバンド [UHF部] 350.1MHz/407.7MHz帯
消費電流	: 待機時: 16mA以下 (UHF OFF時) 最大: 130mA以下	動作温度範囲	: -20℃～+85℃ (GPS部: -20℃～+80℃) (UHF部: -10℃～+60℃)
受信方式	: [GPS部] 16チャンネル/パラレル受信方式 [レーダー部] スイープオシレーター式ダブルスー パーヘテロダイン方式	本体外形寸法	: 65(W)×33(H)×100(D)mm
		本体重量	: 145g(電池含む)

故障かな？と思ったら

修理をご依頼になる前に、もう一度次のことをご確認ください。それでも異常や故障と思われるときは、お買い上げの販売店、または弊社営業所・サービス部にご相談ください。

症 状	チェック項目
電源が入らない	- 電源スイッチがONになっていますか。 - バッテリーが消耗していませんか。シガープラグコードを使って充電してください。 - オートパワーOFF機能が働いていませんか。停車や駐車の状態が約3分以上続くと、自動的に電源が切れます。
充電できない	- 太陽光を十分に当てても充電できないときは、シガープラグコードを使って充電できるか確認してください。 - シガープラグで充電できないときは、シガープラグ内部のヒューズが切れていないか確認してください。切れている場合は、同じ容量(1A)の新しいヒューズと交換してください。
反応(警報)しない	- 電源が入っていましたか。電源ランプの点滅を確認してください。 - 警報機能が正しく働きますか。テスト&ミュートボタンを押して確認してください。 - オートパワーOFF機能が働いていませんか。停車や駐車の状態が約3分以上続くと、自動的に電源が切れます。 - 取締りレーダー波が発射されていましたか。計測する瞬間だけ電波を発射するステルス型など、取締り準備中あるいは終了後などで、スピード測定装置から取締りレーダー波が発射されていないことがあります。(とくにオービスⅢではよくあります) - 取締りが「レーダー方式」で行われていましたか。 - インテリジェントキャンセルされていませんか。キャンセル中はレーダーランプがゆっくり赤色の点滅をします。
GPS警報しない	- GPS測位していましたか。 - 新たに設置されたオービスではありませんか。
取締りもしていないのに警報機能が働く	- ローバッテリーアラームではありませんか。バッテリーランプが点滅しているときは、シガープラグコードを使って充電してください。 - 取締りレーダー波と同じ電波が他でも使用されています。それらの電波を受信すると警報機能が働くことがあります。故障ではありませんので、ご了承ください。 ——取締りレーダー波と同じ電波を使用している主な機器—— - 電波式の自動ドア、防犯センサー／信号機の近くに設置されている車輛通過計測機／NTTのマイクロウェーブ通信回線の一部／気象用レーダー、航空レーダーの一部／他のレーダー探知機の一部 - まれに他の無線機の影響を受けることがあります。その場合は取り付け位置を変えてみてください。
警報の途中で警報音が小さくなりランプも暗くなる	レーダー波の受信が約30秒以上続くと、警報音が小さくなり、ランプも暗くなります。
ひんばんに無線警報する	放送局や無線中継局などが近くにある場合、強い電波の影響や周囲の状況により、受信状態になることがあります。また、取り付けた車やカーナビの画面、カーオーディオなどから強い電波が放射している場合があります。
NシステムGPS告知しない	- Nシステムの設定はONになっていましたか。 - GPS測位していましたか。 - 新設のNシステムなどで、未登録の場合は、告知されません。
誤警報がキャンセルされない	- Iキャンセルの設定はONになっていましたか。 - GPS測位していましたか。 - 新Hシステムやレーダー式オービスが近くにありませんでしたか。 - 取締エリア、またはマイエリア登録したエリアではありませんか。

アフターサービスについて

●保証書(裏表紙参照)

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日から1年間です。

●対象部分

機器本体(専用ニッケル水素電池等の消耗部品は除く)

●修理をご依頼されるとき

「故障かな？と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、使用車名(車種)、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。

※修理期間中における代替品等はございませんので、あらかじめご了承ください。

○保証期間中のとき

保証書裏面の「故障内容記入欄」にご記入いただき、

ユピテルご相談窓口一覧

お問い合わせの際は、製品の機種名をご確認のうえ、使用状況もいっしょにご相談ください。

【取付、取扱方法に関するお問い合わせ】

受付時間 10:00~18:00 月曜日~金曜日(祝祭日、年末年始、当社指定期間を除く)

お客様ご相談センター **TEL. (0564)45-5599**

【取扱方法、修理依頼、販売店の紹介に関するお問い合わせ】

受付時間 9:00~17:30 月曜日~金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

地 区	名称・電話番号・所在地
北海道	札幌営業所・サービス部 TEL. (011)618-7071 〒060-0008 北海道札幌市中央区北8条西18丁目35-100 エアリービル1F
青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	仙台営業所・サービス部 TEL. (022)284-2501 〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町4-8-6 第2喜和ビル1F
栃木・群馬・茨城・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・新潟・静岡	東京営業所・サービス部 TEL. (03)3769-2525 〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33 芝浦新本ビル3F
岐阜・愛知・三重・富山・石川・福井・長野	名古屋営業所・サービス部 TEL. (052)769-1601 〒465-0092 愛知県名古屋市中区東社台3-181
滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・徳島・香川・愛媛・高知	大阪営業所・サービス部 TEL. (06)6386-2555 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町53-10
鳥取・島根・岡山・広島・山口	広島営業所・サービス部 TEL. (082)230-1711 〒731-0135 広島県広島市安佐南区長束1丁目34-22-102
福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	福岡営業所・サービス部 TEL. (092)552-5351 〒815-0032 福岡県福岡市南区塩原3-2-19

●上記窓口の名称、電話番号、所在地は、都合により変更することがありますのでご了承ください。

●電話をおかけになる際は、市外番号などをお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。

お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容にしたがって修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

●GPSデータの更新について

本機にはあらかじめオービス、Nシステム、取締エリアおよび検問エリアのデータが登録されています。新規登録ポイントを盛り込んだ最新データへの更新をご要望される場合、有料(送料別・税込¥5,250)にてデータを更新させていただきます。

※駐禁監視エリアのデータは更新できません。

お買い上げ販売店まで、本機をご持参ください。一旦お預かりし、弊社にてデータ更新後にお返しいたします。